

フロアスタンド

取扱説明書

©2016 Sony Corporation
Printed in China



LSPX-PS1

警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

ほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを定期的に点検してください。

故障したら使わない

すぐにソニーの相談窓口へ修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき



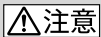
- 1 プロジェクターの電源を切る
- 2 プロジェクターのACアダプターを抜く
- 3 ソニーの相談窓口へ点検・修理を依頼する

警告表示の意味

本書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

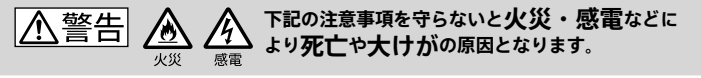
注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

本機は、ポータブル超短焦点プロジェクター LSPX-P1専用です
LSPX-P1以外のものを雲台に取り付けると、落下によるけがや破損の原因となります。



本機に寄り掛かったり、ぶらさがったりしない

本機が転倒したり、プロジェクターが落下して、けがや破損の原因となることがあります。



雲台に乗ったり、踏み台にしない

本機が転倒したり、プロジェクターが落下して、けがや破損の原因となることがあります。



床置き以外の設置はしない

本機が転倒してけがや破損の原因となります。



本機を持ち運ぶときは、プロジェクターを取り外す

プロジェクターが落下して、けがや破損の原因となることがあります。



本機と壁・床との間にDCケーブルをはさまない

DCケーブルに傷がついて火災や感電の原因となります。



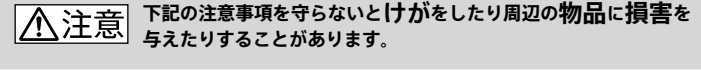
分解や改造をしない

故障や感電の原因となります。



内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、プロジェクターの電源ボタンを長押しして電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。



下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

ポールを確実に締め付けて固定する

締め付けが弱いと、ずれたりはずれたりして、プロジェクターの破損やけがの原因となることがあります。



不安定な場所に設置しない

ぐらついた台や棚の上、あるいは傾いたところに設置すると、倒れたりプロジェクターが落ちたりしてけがの原因となることがあります。



DCケーブルに足をひっかけない

本機が転倒したり、プロジェクターが落下して、けがや破損の原因となることがあります。



設置の際、本機と壁・床との間で指・足の挟みに注意する

本機と設置部分で指や足を挟まないように慎重に取り扱ってください。



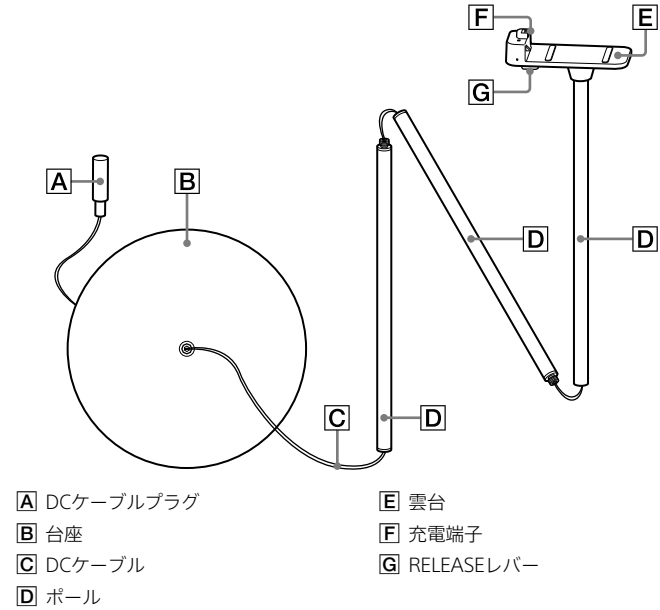
水のある場所に置かない

水が入ったり、濡れたり、風呂場などで使うと、火災や感電の原因となります。



内容品を確認する

- フロアスタンド (1)



- 転倒防止用ストラップ (1)
- 木ネジ (1)
- 六角レンチ (1.5 mm) (1)

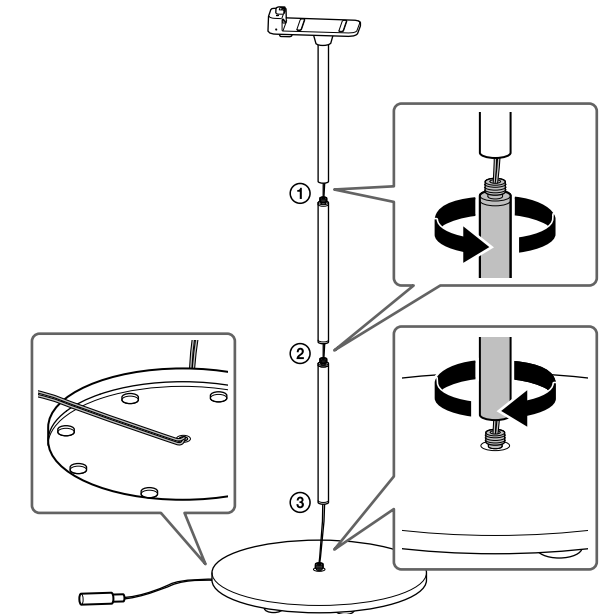


- 保証書 (1)
- 取扱説明書 (本書) (1)

ACアダプターは、LSPX-P1のプロジェクターに付属のものをお使いください。

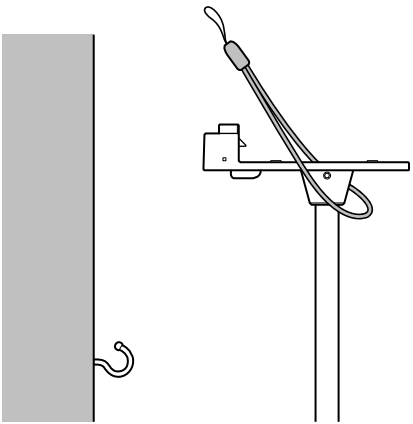
組み立てる

- 1 ポールと台座を①②③の順番でつなぎ合わせる。
DCケーブルを各ポールの間にはさみこまないようにご注意ください。
DCケーブルは、台座底面のゴム脚の間から出してください。

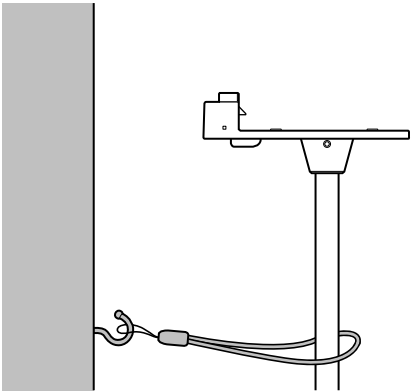


転倒防止のために壁に固定する

- 1 しっかりした壁に木ネジ(付属)を打ち込む。
床から70 cm ～ 80cmの高さに木ネジを打ち込んでください。
- 2 転倒防止用ストラップ(付属)の大きいほうの輪を、雲台側から本機に通す。

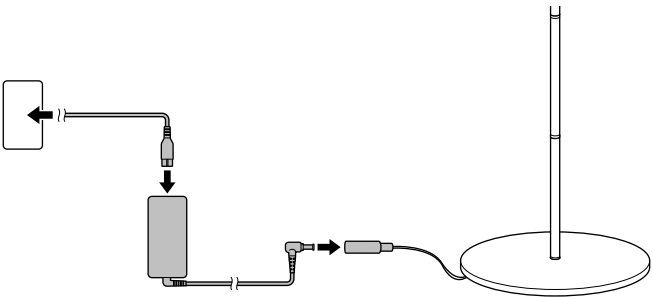


- 3 転倒防止用ストラップの小さいほうの輪を木ネジに掛ける。



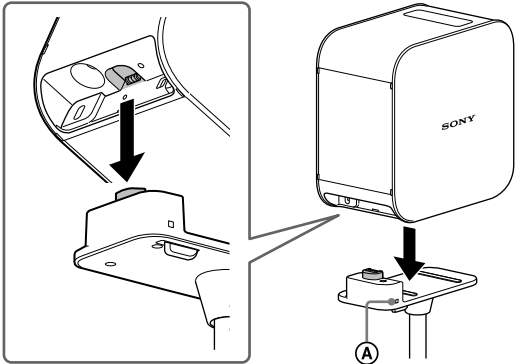
プロジェクターを載せる

- 1 DCケーブルプラグに、プロジェクターに付属のACアダプターを接続し、電源プラグをコンセントに差し込む。



- 2 雲台の充電端子とプロジェクターのスタンド用電源端子を合わせて、プロジェクターをまっすぐ下ろす。

プロジェクターを正しく取り付けると充電ランプ (A) が点灯します。充電が完了するとランプが消灯します。

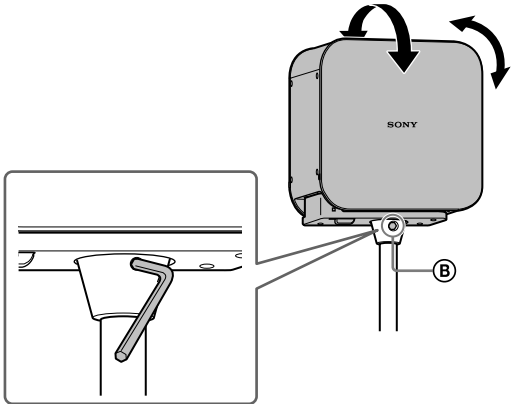


角度を調節する

プロジェクターの映像の見えかたに合わせて雲台の角度を調整します。前後左右に微調整できます。

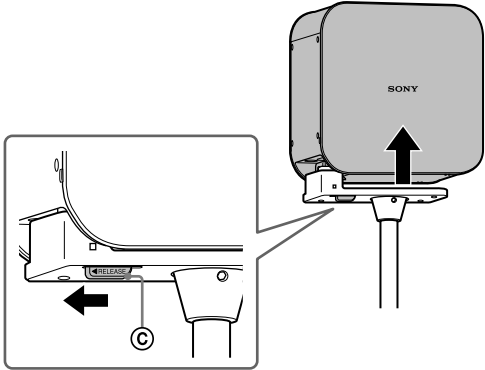
- 1 プロジェクターを手で支えながら、雲台の角度を調整する。

雲台の固定が固くて動かない場合、あるいはゆるくて角度を調整できない場合は、六角レンチ(付属)で雲台の左右2か所にある六角穴 (B) のネジ部を調整してください。



プロジェクターを取り外すときは

RELEASEレバー (C) を矢印の方向に引きながら、プロジェクターをまっすぐ上に持ち上げます。



ご注意

- 六角穴を締め付けすぎないようにご注意ください。締め付けすぎると、六角穴、六角レンチおよびネジ部が破損するおそれがあります。
- プロジェクターを取り外すときは、必ずRELEASEレバーを引いて取り外してください。無理に取り外そうとすると破損の原因となります。

使用上のご注意

設置について

- ポールや台座にDCケーブルが引っかからないように注意してください。DCケーブルが引っかかったまま取り扱うと、DCケーブルが破損することがあります。
- 雲台にはマグネットを使用しています。磁気カードやICカードなどを近づけると、データが消失したり、カードが利用できなくなることがありますので、充分ご注意ください。
- 畳、じゅうたん、カーペットなどの上に置く場合は、平坦になるように板など堅いものを敷いてください。
- 台座の上にものを置かないでください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高い場所や、湿度が高い場所での使用は避けてください。
- 屋外での使用は避けてください。
- 台座のゴム足の下に砂やごみなどが入った場合は取り除いてください。床を傷つけることがあります。

お手入れについて

やわらかい布でから拭きしてください。アルコールやシンナー、ベンジンなどの化学製品や中性洗剤はスタンドの仕上げを傷めることがありますので、使わないでください。

主な仕様

外径寸法

約200 mm×約200 mm×約878 mm (幅×奥行き×高さ)
(DCケーブル、DCケーブルプラグを含まず)

質量

約2.2 kg

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

- 保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
- 部品の保有期間について
当社では、フロアスタンドの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年間保有しています。
この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

機種名 : LSPX-PS1

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

修理相談窓口

フリーダイヤル..... 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話... 050-3754-9599
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX 0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「999」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

なお、本製品のサポートなどは

<http://www.sony.jp/support/projector/>

右記のホームページをご活用ください。